

成田空港の大規模拡張に伴う集落移転と地域資料の保全活動 ～2025年度の活動を中心に～

北総地域資料・文化財保全ネットワーク

森脇孝広^{*1}・相川陽一^{*2}・新井勝紘^{*3}・榎美香^{*4}・奥住淳^{*5}・白井哲哉^{*6}・菅谷祐輔^{*7}・檜皮瑞樹^{*8}

^{*1}高崎経済大学 ^{*2}長野大学 ^{*3}専修大学 ^{*4}東京文化財研究所 ^{*5}芝山町教育委員会 ^{*6}筑波大学 ^{*7}千葉経済大学 ^{*8}千葉大学

〔1〕北総地域資料・文化財保全ネットワーク（北総ネット）とは

・2024年5月に設立され、8名の共同世話人で運営するボランティア団体です。現在、千葉県の北東部では、成田空港の大規模な拡張工事が進んでおり、芝山町、多古町、横芝光町、成田市などの広域で集落移転などが起きています。特に、芝山町への影響が大きく、4集落（地区）約130戸が全戸移転となります。北総ネットでは、大規模開発に伴う地域資料の散逸や滅失を防ぐため、①区有文書をはじめとした地域資料の現状把握や資料整理、②解体を避けることのできない歴史的建造物等の記録保存、③失われる景観の撮影、④集落移転後の資料保全に向けた相談対応等を行っています。

〔2〕2024年度の活動—全戸移転に対応した緊急資料調査を実施—

・北総ネットでは、文書班・建築班・石造物班・映像班の四班編成のもと、千葉歴史・自然資料救済ネットワークをはじめとする関係機関のサポートを得て、2024年9月2-6日に芝山町の①中谷津地区、②中郷地区、③菱田東地区にて公会堂（集会所）内の資料の概要把握調査と目録作成を実施しました。歴史的建造物の実測やドローンを使用した3Dスキャン、移転準備の過程で新たに発見された石碑などの石造物の撮影やデータ取得なども実施しました。9月調査には延べ約70名に参加いただきました。次いで2025年2月22・23日には④加茂地区で資料調査を実施しました。



資料2. 多古町での展示を伝えるチラシ

資料1. 成田空港の拡張計画図と北総ネットによる調査実施地域

出典：成田国際空港株式会社ウェブサイトに報告者が自治体名と調査地名を加筆

〔3〕2025年度の活動

・2025年8月29・30日には、⑤多古町一鉢田地区において資料調査を実施しました。地区の方々をはじめ、多古町役場の文化財・空港対策関係部署の方や町議会議員の方が視察にいらしてくださいました。関係の方々の物心両面にわたるご支援があり、調査を行うことができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。
・上の活動の成果の一部を還元するため、多古町コミュニティープラザにて「土地の記憶—多古町一鉢田地区のくらし・歴史—」展（2025年12月13日～2026年1月11日）を開催しました（資料2）。
・文書資料、民俗資料等の保全以外にも、聞き取り調査や風景の撮影作業など活動領域を広げつつあります。
・今後いっそう工事が進むなか、北総ネットでは地元自治体・郷土史研究者・空港会社との連携のもと、地域の皆様の要望に応えられる活動を進めたいと考えております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。



写真1.加茂公民館に保存されて
いた婚礼道具。



写真2.一鉢田共同利用施設にて。文書が納められていた筆筒。

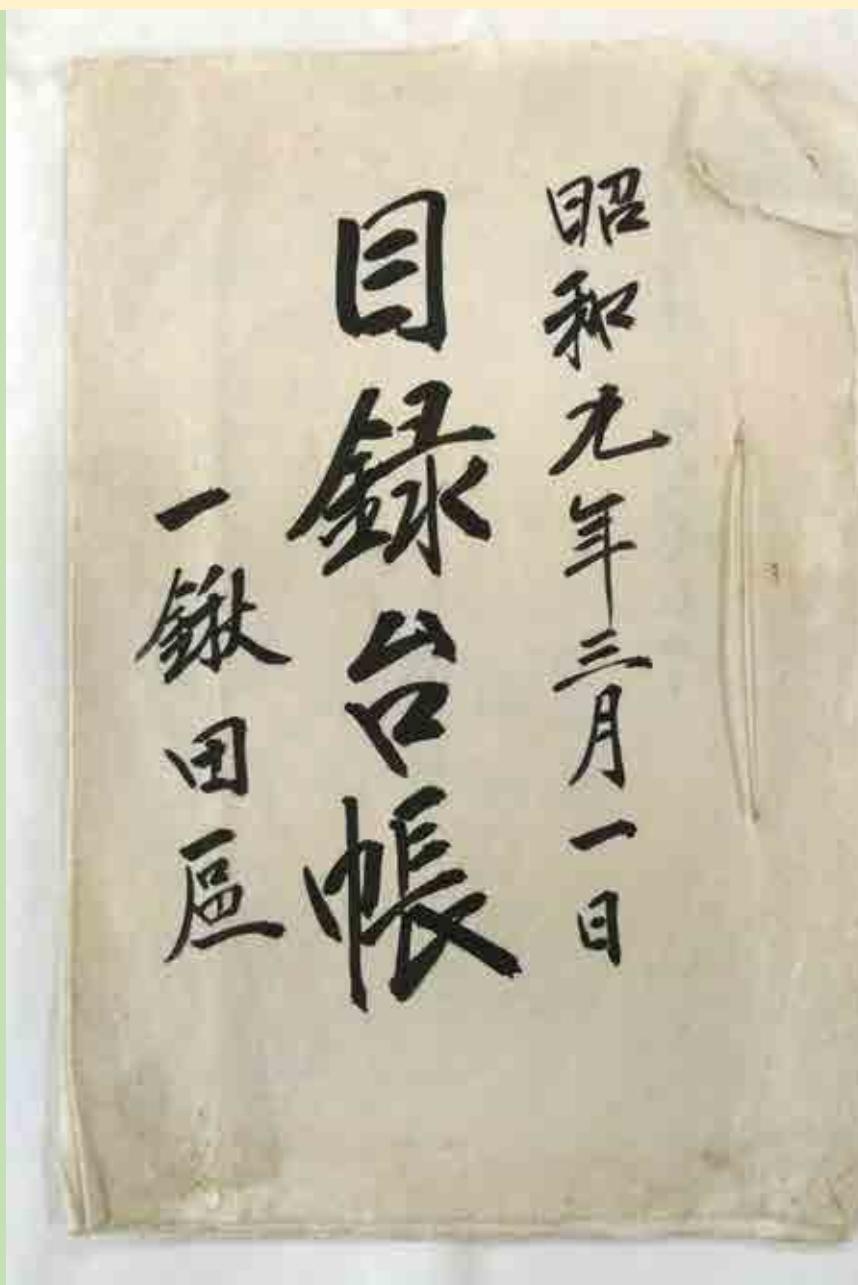


写真3.一鉢田区の目録台帳。区長
引き継ぎの際に作成された模様。



写真4.2025年7月の風景撮影。自転
車にカメラをとりつけひたすら走る。



写真5.2025年11月、中郷地区における聞き
取り調査。

謝辞：本報告は長野大学研究助成（地域・社会貢献研究）による研究成果の一環です。本ポスター発表にあたり「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」より助成をいただきました。このたびの地域資料調査にご協力いただいたすべての皆様に、厚く御礼申し上げます。